

畜たいらの大胆政策5 環境保全と財源確保

- ① ^{やんば}ハツ場ダム中止・予算編成の透明化・外郭団体の徹底的見直し・入札制度の大胆改革・
県有財産の有効活用で、財源捻出

無駄遣いを撲滅する観点から、従来の組織・行政運営を徹底的に見直し、県民の税金をもっと有効に活用します。

- ② ^{きなだやま}鬼泪山の山砂採取禁止で、里山保全

富津市「鬼泪山」の山砂採取はもともと、アクアラインなどの重要工事のために限定されてきたものです。近隣の生活用水や里山の自然を脅かす、一般事業での山砂採取を禁止します。

- ③ 三番瀬保全

豊かな生き物の生息地である三番瀬を地域住民・産業・NPOなどと協力して保全します。

- ④ 基礎自治体への権限移譲で、県庁スリム化

県の機能・権限を大幅に市町村に移譲し、県庁をスリム化します。千葉県自ら地方分権を進めます。

- ⑤ 県庁公用車の削減とエコカー導入で、CO₂削減

県庁職員の公用は公共交通利用を原則とし、車の使用を減らします。必要最小限の公用車には、電気自動車・天然ガス車・ハイブリットカーなどのエコカーを導入します。

千葉100年の計

私たちは、今に生きるとともに、これから育てゆく子供たちに、そして未来の子供たちに”住みたい千葉”をつくってゆく責任があります。緊急の課題と合せて、以下の3点を100年の計として重点的に取り組みます。

一、教育

一、環境と新エネルギー

一、街づくりと交通

私は、千葉に生まれ、育ち、そして働き、生きる
すべての人々にとって「住みたい千葉」
を創ることに全身全霊で取り組みます。

平成二十一年三月一日 吉田 平